

令和6年 国民スポーツ大会フェンシング競技 長野県代表 選手選考基準

各種別において、国民体育大会参加資格の特例措置の該当トップアスリートが出場可能な場合は、県予選会欠場であっても長野県フェンシング協会（以下：長F協）理事会の決定をもって、優先的に北信越国体および本国体の県代表選手とすることがある。出場可能なトップアスリートが複数名存在する場合は、日本フェンシング協会の発表する順位を考慮し、強化部で長野県重点種目を選定後、長F協理事会に諮り決定する。

トップアスリート出場を優先するため、県予選会での上位入賞者が県代表とならない場合もある。

また、北信越国体を欠場したトップアスリートが本国体に参加できる場合は、県代表候補に加えて再選考し長F協理事会で3名を決定する。

予選日程、成年男女の重点種目については別に定める。

<北信越国体>

(1) 成年女子

当該年度の本国体での実施種目の県予選会を行い、県代表候補3名を選出する。なお、国体監督資格を有する者が含まれるように選出する。但し、重点種目設定をした場合は、県予選会の実施種目を1種目とする。

各種目の順位ポイントは、1位8点・2位5点・3位4点・4位3点・5位2点・6位1点を与える。県予選を実施した種目の合計ポイントの上位3名（監督資格を有する者含む）を県代表候補とする。

以上をもとに長F協理事会で3名を決定する。

(2) 少年男子・少年女子

県代表候補は各4名とする。

各予選で順位ポイントは、1位8点・2位5点・3位4点・4位3点・5位2点・6位1点を与える。順位ポイントの合計上位3名が北信越国体の代表に内定する。ポイント合計で並んだ場合は該当者同士でバラージュを行う。

男女とも残り1名については、予選会にエントリーした者のうちから日ごろの練習の取り組み状況及び試合でのプレー内容や結果など総合的に判断し、強化部で選出する。

以上4名と参加可能な少年種別のトップアスリートの内から、長F協理事会で4名を決定する。

<本国体>

(1) 成年男子

当該年度の本国体での実施種目の県予選会を行い、県代表候補3名を選出する。なお、国体監督資格を有する者が含まれるように選出する。但し、重点種目設定をした場合は、県予選会の実施種目を1種目とする。

各種目の順位ポイントは、1位8点・2位5点・3位4点・4位3点・5位2点・6位1点を与える。県予選を実施した種目の合計ポイントの上位3名（監督資格を有する者含む）を県代表候補とする。

以上をもとに長F協理事会で3名を決定する。

(2) 成年女子

原則、北信越国体出場選手をそのまま本国体出場選手とする。

(3) 少年男子・少年女子

北信越国体出場選手4名の中から3名以内を選考する。

選出方法は、日ごろの練習の取り組み状況、北信越国体でのプレー内容と試合結果など総合的に判断し強化部で県代表候補を選考し、理事会で決定する。